



会報 まえだ 405

発行者 会長 高嶋威男
編集 竹内(と)
<http://maedacho.jp/>

新年のごあいさつ～ 「安心、安全な街づくり」の為、強い絆を築こう 会長

前田町町内会の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年も台風による大雨の大きな被害が北九州地区に出ました。近年は地球温暖化の影響で台風も大型化しています。温暖化防止策として川上地域エコ活動委員会を中心に取り組んできております。

また、大規模地震対策としても前田町町内会防災委員会を中心に取り組んでおります。いつ起こるかもしれない自然災害だけでなく、私たちを取り巻く環境は、高齢化社会を迎え、2025年には横浜市の65歳以上の人口が100万人を超えるようです。また2人に1人が認知症になるとも言われております。また、特に中高生の自殺が増えるなど、子どもの心の貧困も問題になってきてます。これらは他人事に済まされません。

どちらにしても地域での見守りが必要です。なんと言っても、町内会の行事等活動に積極的に参加していただき、いざと言う時に役に立つよう、強い絆を養っていきましょうではありませんか。皆様のご健康をお祈りします。今年もよろしくお祈りします。

(会長)

「環境講演会&体験キャンプ報告会」 参加受付の件 (申込お忘れの方)

2月3日(土)に開催されます、「環境講演会&体験キャンプ報告会」の参加申し込みをまだの方(回覧に記入お忘れの方)は、直接「町内会館事務所」(827-2701)へご連絡下さい。

(川上地域エコ活動委員会)

生ゴミ処理箱「キエーロ」の設置について

資源循環局が推進している、「生ゴミの土壌混合法」で生ゴミを発酵させ堆肥にする箱を戸塚区役所から借りて会館前に設置しました。

会館では毎月2～3回の食事会を実施しており、その時にでる「生ゴミ」をもやすゴミとして捨てるのではなく、有効活用するものです。出来た「堆肥」は公園などの花壇に使用してもらいます。

(川上地域エコ活動委員会)

防災講習会 (DIG) のお知らせ

前田町町内会では、毎年防災講習会を開催しておりますが、今年は下記の要領で開催します。

記

【日時と場所】 1月20日(土) 13:30～16:00
前田町町内会館

【内容】 災害図上訓練(DIG)と茶話会

参加者が自宅周辺で大きな災害が発生するという事態を想定し、その場合の危険箇所や発生事情を想像し、対策を検討する訓練です。今回は前田町を中心とした大きな地図を使って行います。

また、訓練終了後、お茶とお菓子を召し上がりながら近所のかたとご歓談下さい。

※DIGは昨年9月に組長会で実施したものと同一です。(前田町町内会 防災委員会)

開催されました 私はだまされない！ —消費者トラブル、詐欺に遭わないためには—

表記の講座は12月11日(月) 13:30～14:30前田町町内会館で開催されました。



今年も色々手口を変えてくる詐欺! どうしたら詐欺に遭わずにすむか、悪質商法の最新情報や断り方などわかりやすく教えていただきました。また寸劇「点検商法(浄水器編)」では参加者の中から配役が出ての熱演はとても楽しく、勉強できました。当日の参加は40名以上で用意していた資料が足りないくらいの盛況でした。(消費生活推進委員)

食廃油 回収実績報告

11月実績	平成29年度累計
30	185

単位: リットル

(川上地域エコ活動委員会)

会務報告 会長

※=前田町内会館

- 12月11日(月)13:30~ 消費者トラブル、詐欺に
遭わないための講座(※)
- 12月11日(月)13:30~ 相和会定例会(私はだまされな
い!研修会)(※)
- 12月15日(金)18:00~東戸塚街づくり開発委員会忘年会
- 12月17日(日)14:00~ 防災委員会(※)
- 12月17日(日)15:00~ 役員会(※)
- 12月28日(木)19:00~ 消防団激励式
- 1月5日(金)12:00~ 戸塚区賀詞交換会(戸塚小学校)
- 1月6日(土)~8日(月祝)冬の体験キャンプ(下川町)
- 1月6日(土)10:00~ 戸塚区消防出初式(戸塚公会堂)
- 1月7日(日)12:30~ 役員部長会(※)
- 1月7日(日)14:00~ 組長会(※)

今後の予定 会長 ※=前田町内会館

- 1月11日(木)12:00~ 相和会(新年会)(※)
- 1月12日(金)10:00~ 若葉会(秋葉町内会館)
- 1月19日(金)10:00~ ひまわり(秋葉町内会館)
- 1月20日(土)10:00~ ボランティア活動委員会
(秋葉町内会館)
- 1月26日(金)18:00~ 「ともだちウィートエール」
お披露目会(横浜地ビール「驛の食卓」)
- 1月27日(土)13:00~ 川上地区連合町内会
広報部会(秋葉町内会館)
- 1月27日(土)14:00~ 川上地区連合町内会役員会
(秋葉町内会館)
- 1月28日(日)15:00~ 役員会(※)
- 1月29日(月)14:30~ 秋葉中ファンド運営委員会
(秋葉中)
- 2月2日(金)10:00~ 若葉会(※)
- 2月2日(金)18:00~ 「戸塚区体育協会新春交流会」
(第一生命教育センター)
- 2月3日(土)9:00~ 環境講演会&体験キャンプ報告会
(男女共同参画センター横浜)
- 2月4日(日)12:30~ 役員部長会(※)
- 2月4日(日)14:00~ 組長会(※)

会員の異動(12月受理分) 総務部・広報部

前田町物語 ビンガラあみの話

今はビールびんなどはビニールのケースに入っていますが昔はビニールなどありませんでした。そこでビールを箱づめにする時、麦わらをもめん糸であんでビールびんのマントのようなものをつくり、それでビンがぶつかり合ってこわれるのを防ぎました。これをビンガラといいました。

大正時代から昭和十年ごろまで、男の子でも女の子でも小学生のいる家では、子供がみんなあみました。それは百本一たばで十銭でした。十銭というと一円の十分の一ですが、そのころは、七銭で市電に乗れて、南区の弘明寺から鶴見の生麦まで行けた時代です。一銭持って駄菓子屋さんに行けば、大きなあめ玉がいくつも買った時代です。だから子供たちにとってはとてもとお金でした。

このころは村中ほとんど農家で家中の者が朝早くからいっしょうけんめい働いても収入が少なくて、とてもぜいたくはできませんでしたし、親からおこづかいなどはめったにもらえなかったのです。だから、自分たちでビンガラをあみ、それを売ったお金で、ノートや鉛筆を買い、残ったお金は自分のおこづかいにしました。

学校が夏休みになりますと、どこの子も一本でも多くビンガラをあもうと競争しました。もちろん学習塾もなければピアノのおけいこもない、学校の宿題だってそれほど出されない時代です。

「昔のことで、鈴木健三さんの家に入る右側に大きな竹やぶがありました。その竹やぶの中に舞台をかけて、その上に近所の子どもが集まり、みんなで仲よくビンガラをあんだのをよく覚えています。」と内島寅吉さんは話しています。

そのビンガラを扱ったのは、柏尾町の、いま秋本眼科のある手前の猪熊泰秀さんという家で、そこにはビンガラの倉庫もありました。

前田町では旧東海道の八六番地の今の青木建材の近くに杉山という人が茶わん屋の店をだしていました。その隣の今はなくなった安井市之助さんという人が扱者でした。安井さんは当時、牛車をひいて各家庭にビンガラを集めにきたといえます。

編集注：昭和六十年頃会報に連載され、昭和六十一年十月に前田町町内会文化部がまとめた「前田町物語」を紙面に余裕のある時に再掲します。

「会報まえた」に関するご連絡は下記までどうぞ。

p r @ m a e d a c h o . j p 竹内
町内会HP <http://maedacho.jp/>

※町内会のホームページでは、これまでの町内会の活動や町内会館の利用について、入会・退会の手続きなどを確認いただけます